

## 探訪 チャレンジ企業 45

### 土を診断し、大地にメスを入れる 能登のジオドクター(大地のお医者さん) 北海技建株式会社：羽咋市

#### 一 地質調査業の役割

去る四月一日夜、羽咋市を中心とする約十一万戸に及ぶ大規模な停電が発生した。原因は地滑りによる鉄塔の倒壊である。鉄塔そのものは頑丈に作られていたが、支持基盤に問題があり、送電能力が不足して、原発さえも停止せざるを得ないような大事故となったのである。鉄塔が倒壊するなど建設体制が整備されてきた今日では、まず考えられぬことではあるが、このような事故を未然に防止するため尽力してきたのが、今回紹介する「北海技建(株)」も含ま

れる地質調査業の各社である。「地質調査業」という業種は、一般には馴染みが薄い。しかし巨額の費用をかける建設事業の第一工程を担い、事業の成否さえも左右する程の重要性を持つ業種として、その存在意義は関係者に認知されてきた。着工に先立って、綿密な調査・試験を行い、地質・地盤の特質を完全に把握してこれを設計施工に活かす。安全堅固な構築物を建設すると同時に、最低コストと最短工期を実現する。現在では、大規模工事の必須の工程として実施されているので冒頭のような事故は絶対におこりえないはずだが？

#### 二 地質調査の内容

このように建設工事の行方を左右する程の重要性を持つ「地質調査」は、次のようにして実施される。

まずフィールド調査を行って対象地域の特質を大つかみにし、その後現地での調査試験や、採取した試料を使っての室内試験によって地質と地盤の状態を正確に把握する。現地では地盤をボーリング(穿孔)してサンプルを採取し、同時にその孔を利用して、各種試験を行う。また、地下にロッドを打ち込み、その状態から、地盤の固さや、支持層の位置を判断したり(サウンディング)、地震波・音波・電気等を利用して、物理探査も行う。室内では、物理試験、力学試験、化

学試験などを行って、土や岩石の性質を調べる。そして得られたデータをコンピュータを使って「解析」「判断」を下す。これらが次の「設計工程」の基礎データとなるのである。

#### 三 会社の沿革

現社長の高木仁志氏は、金沢大学理学部地学科の出身である。昭和四十五年卒業と同時にボーリング機械のメーカーに入社し、直ちに研修を兼ねて青函トンネルの工事現場に派遣された。そこでは先進導坑の試錐業務に従事したが、水平方向に精度を要するために原爆実験用に開発されたアメリカ製やソ連製の特殊な機械を使って作業を行い、調査の腕を磨いた。その後、家庭の事情もあって、郷里の金沢市へUターンし、約八年間、勤めた後独



代表取締役 高木 仁志氏

立に踏み切ったのである。初代の社長は創業に際して、いろいろと支援を受けた盛進工業(羽咋市)専務の大森八郎氏である。その後、同社社長の荒木龍平氏が直接両社の社長を兼務したが、両氏によって同社の経営基盤は飛躍的に強化された。更に公共部門への営業を充実するために、三代目として現会長の谷野豊信氏が招かれたが、高木氏はその間専務取締役の立場で一貫して技術部門を担当してきたのである。同氏が社長に就任したのは平成十五年のことであった。

#### 四 地元に着目して 安全安心を商う —新しい挑戦—

地質調査業は最新鋭の設備機器を駆使してデータを収集し、そのデータをハイテク機器を利用して、整理し、解析し、判定する。疑いもなく、最新の産業であり、最高度の知識産業である。「実施すればする程、社会の効用が増大する新産業」という意味では、まさしく「企業」の枠をこえた「チャレンジ産業」であると言える。同社もまさにこれである。しかしその目標を意外と身近に置いている。それは「地域に密着した大地のお医者さん(ジオドクター)」を自指すということである。

「実施すればする程、社会の効用が増大する新産業」という意味では、まさしく「企業」の枠をこえた「チャレンジ産業」であると言える。同社もまさにこれである。しかしその目標を意外と身近に置いている。それは「地域に密着した大地のお医者さん(ジオドクター)」を自指すということである。邑知瀉地溝帯という軟弱地盤をかかえる羽咋地区では「家が傾いてきた」「裏山が崩れそう」という悩みが切実な意味を持つ。



3次元地図ソフト「カシミール3D」と「数値地図50mメッシュデータ」を使い高木社長が作成したCG

地質についてはどんな些細なことでも気軽に相談を受け付ける。そしてこれらの一つ一つに誠実に答えて地域住民の安全安心に貢献する。「ハイテク機器を駆使した知識産業」というイメージが薄らいで、「気軽な大地の安全屋さん」というイメージが定着したときに、同社の目標は実現に近づいたと言えるだろう。(お問い合わせ)

#### 北海技建株式会社

〒九二五-〇〇一四  
羽咋市釜屋町ノ四四番地二  
TEL:〇七六-七一一三-六六一八  
FAX:〇七六-七一一三-六二六八  
E-mail:hokukai@nsknet.or.jp  
URL:http://www.nsknet.or.jp/~hokukai/

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。